	No.	33	_	8 事剂	务事業:	名 老人	クラブ道	全会 全	を 援事	業細	事務事	業名	老人クラ	ブ連1	合会支援	事業	公的関与	5	ノート作	成E	<u> </u>	☑成30年	6月15日			
	課名							グル-	ープ 高齢福祉 担当課長名					藤井清和・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					·名	田畑由美子						
			\wedge	◎ 1 ソフト事業 ○ 3 整何			備事	業	5 旅	設の管	理運	営	中泰涅	営方法	□ 1 直営				□ 3 全部委							
	尹ź	業区分		○ 2 施設の建設 ○ 4 経常的				常的	事務事業				事未 理	呂刀法	□ 2 一部委託			1	☑ 4補助等							
				政策	目標	3 健	やかで	やさしい	やと	み			実	施計	画			事第	美の開始	台•糸	冬了					
	総1	合計	画	施策項目 高齢者支援の充実								● 1 i	亥当			年度	₹ ~ ∓	^Z 成	<u></u> 左	F度 ☑	期間語	足定なし				
				主要施策 高齢者福祉サービス等)提供			O 2 #	ᆙ該 ≜	当	#8 #bn \$										
	個別計		画	介護保険事業計画·高齢者福祉計画											<u> 根拠法令等</u>											
	事業の 目的 事業の 内容			対象(誰を・何を)								意図(どういう状態にしたいのか)														
0				○弥富市老人クラブ(福寿会)連合会○弥富市老人クラブを図ります。									ブ(福寿会)連合会の活動の円滑な実施のため、補助金を交付し地域の老人クラブの充実と発展													
PLAZ)					合会の	活動	に対して、1,0	20,00	0円を	・助成しま	す。												
	成果指			指標名											指標名											
		成 果 指 標		指標設 定の考 え方		ある老 <i>)</i> は定を老				気から、本事	業の	単位	団体	(0)	指標設 定の考 え方							<u>i</u>	道 立			
			1	平成	28 年	度	平成 2	9 年度	ম	☑成 ※ 年度	目標	平成	30 年度	2	平成	28 年度	平成	29 年度	平	成	※ 年度	目標平	成 30 年度			
	標		,	実 積 目標	69 74	実績目標	74		目標	*	目標		75		実績目標		実績目標		目標		*	目標				
	予算	算費	目	会 計			-	般会計			款	3	民生費			項 3	老人福祉	費		目	1 老人	福祉総務	費			
							平月	<mark>戈</mark> 28	8 :	年度決算額				平成	29	年度決算	算額		平	成	30	年度	5算額			
	直		国・鳰	是出支具						334 千月						328	千円					32	9 千円			
	接		坩	方債						千円							千円					千円				
n		そ		特定財	源					千月							千円				千円					
00	事業費			般財源						686 千円							千円		(
	賀		Ē	計(A)		1,020 千円					円		1,020 千円								<mark>0</mark> 千円					
	J. 1/4	- 弗	下贈	昌丁数.	経費					0.032 人						0.032							2 人			
	人 I (B	3)		員工数·経費						221 千円							千円						<mark>1</mark> 千円			
				職員工数·		0.0	000 人			0 千月			0.000	人			千円	0	.000 丿				0 千円			
	全	:体事	業	費(A+B	3)					1,241 千F	円					1,241	千円					1,24	1 千円			

			チェック項目	一次評価					一次評価の説明					二次評価					
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他(主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。	の実施	0	はい		€ (1)	いえ	互の交流	のため各	こりまとめと 種事業の1	企画	0	はい	•	いいえ		
	必要性	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。	0	はい		● い	いえ	運営を行う連合会に補助するの は必要と考えます。				0	はい	•	いいえ			
			住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地		0	はい		€	いえ	は必安と		0	はい	•	いいえ				
		4.	住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較ニーズを上回るサービスとなっている。	して	0	はい		● い	いえ					0	はい	•	いいえ		
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはい	いえない。	0	はい		● ()	いえ			こりまとめと 補助として		0	はい	•	いいえ		
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえ	0	はい		● い	いえ	効と考え		11111211		0	はい	•	いいえ			
CH	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する	る。	0	はい		● い	いえ					0	はい	•	いいえ		
E		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。		0	はい		● い	いえ					0	はい	•	いいえ		
C		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っている。		0	目標	に比べ	て劣って	でいる 単位老人クラブ数は概ね目標達成しています。しかし、会員数の					0	目標に比べて劣っている				
	達成度	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていない。		0	あまり	り上がっ	ていなし	۸,	減少が懸		0	あまり上がっていない						
		3.	目標設定に対して概ね目標を達成している。		•	概ね	達成し	ている				•	概ね達成している						
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成している。		0	十分	達成し	ている						0	十分達成している				
	効率性	1.	効果に比べてコストが高い。		0	はい		● ()	いえ	単位老人クラブのとりまとめと相 互の交流のためリーダー的な役			0	はい	•	いいえ			
		2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。		0	はい		● い	いえ	割も兼ね備えている連合会の役割は、重要と考えます。				0	はい	•	いいえ		
		3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	る。	0	はい		(1)	いえ					0	はい	•	いいえ		
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	はい		● い	いえ					0	はい	•	いいえ			
			一次評価					二次評価											
	評値	三点	必要性 有効性 達成度 効率性	総合評 A	価		必	要性		与効性	達成	度 欬	加率性	Ė	総	合評	価		
		後の			1.华		<u> </u>			<mark>4 </mark>		○ + :+	<u>4</u> 改善	Ξ.	A ○ 民間委託等				
	方向		● 拡大·充実 ○ 現状維持 ○ 方法改善 ○ ○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止 _	氏间安 市	나	_		ムハ・) 宿小		<u>₩</u> 統合/終			· (人体)			1女市	L 寸		
	731	,,,_	○ MB·1 ○ MB·1/ 中区列放入 ○ 法正/ 外正			<u>υ η</u>	ild . 1		二次評価					意見)					
ACTIO	当課	題	会員数の増強。		高齢化社会の進展に伴い、高齢者の増加が見込まれ、単位福寿会の母体である 福寿会連合会の充実は、必要不可欠のものであり、魅力ある福寿会活動の支援														
N	課題のた改善	解決めの計画	会員数の増加のためには、クラブの活性化はもとより意欲ある! 必要であります。	養成			は重要な施策と考えます。									<u></u>			
	備	考																	